

## 経営体制と担当役員異動に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、2022年3月1日付および4月1日付で、以下の経営体制変更ならびに、担当役員の変動を行います。

### 1. トップマネジメント体制について

2022年3月1日付で、新たに財務担当(Chief Financial Officer: CFO)を社外から迎えます。また、2022年4月1日付で、新たに法務担当(General Counsel: GC)および製薬技術担当(Chief Manufacturing Officer: CMfgO)をトップマネジメントに新設します。加えて、戦略実装担当(Chief Business Officer: CBO)を解消し、その役割を経営戦略担当(Chief Strategy Officer: CStO)に統合します。

#### ■新財務担当(CFO)の就任

金融、化学およびエレクトロニクスをはじめとする様々な業界で経営統括・財務の主要なポストを歴任し、企業経営・統治における豊富な知識と経験を持つ、菊岡 稔が財務担当(CFO)に就任します。

#### ■法務担当(GC)の新設

全社的視点で法的リスクから会社の利益を守るジェネラルカウンセルとしての役割に加え、トップマネジメントとして経営における価値創造への積極的な関与を期待し、法務担当(GC)を新設します。法務担当(GC)には、現在、法務の部門長を務め、ジェネラルカウンセルとして全社のビジネスサポートに貢献してきた Catherine Levitt が就任し、法務の部門長も兼任します。

#### ■製薬技術担当(CMfgO)の新設

Focus Area アプローチの進展に伴う多様なモダリティの製品化と安定供給実現に向けたケイパビリティ強化・拡充のため、製薬技術担当(CMfgO)を新設します。現在、製薬技術本部長を務め、多様なモダリティに対応した Chemistry, Manufacturing and Control 研究および生産体制の構築に貢献してきた嶋 秀樹が製薬技術担当(CMfgO)に就任し、製薬技術本部長も兼任します。

■戦略実装担当(CBO)の解消と経営戦略担当(CStO)への統合

戦略実装担当(CBO)を解消し、経営戦略担当(CStO)に統合します。戦略の立案および実装の両方の役割を経営戦略担当(CStO)が担うことで、経営計画2021達成に向けたビジネスのより一層の推進を図ります。

トップマネジメント体制

職位	氏名	新任
代表取締役社長(CEO)	安川 健司	
代表取締役副社長 経営戦略担当(CStO)	岡村 直樹	
経営管理・コンプライアンス担当(CAO & CECO)	櫻井 文昭	
メディカル担当(CMO)	Bernhardt Zeiher	
販売統括担当(CCO)	松井 幸郎	
研究担当(CScO)	志鷹 義嗣	
財務担当(CFO)	菊岡 稔	○
法務担当(GC)	Catherine Levitt	○
製薬技術担当(CMfgO)	嶋 秀樹	○

2. 担当役員について

2022年3月1日付

氏名	新職位	現職位
菊岡 稔	専務担当役員 財務担当	—
岡村 直樹	代表取締役副社長 経営戦略担当 兼 戦略実装担当	代表取締役副社長 経営戦略・財務担当 兼 戦略実装担当

2022年4月1日付

氏名	新職位	現職位
岡村 直樹	代表取締役副社長 経営戦略担当	代表取締役副社長 経営戦略担当 兼 戦略実装担当
嶋 秀樹	専務担当役員 製薬技術担当 兼 製薬技術本部長	常務担当役員 製薬技術本部長

以上

### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ／テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+<sup>®</sup>)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

### お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社  
コーポレート・アドボカシー&リレーション部  
TEL: 03-3244-3201